

19 水・緑豊かで人にやさしい都市生活空間の形成について

(国土交通省)

公園緑地は、都市の生活に潤いを与えるとともに、災害時の緊急避難場所としての役割を担う重要な都市施設です。

京都市においては、「京都市緑の基本計画」において、平成37年度までに市民一人当たりの公園面積を10㎡とする目標を立て、整備に努めているところです。しかしながら、平成18年度末における状況は、4.57㎡と目標達成に著しい遅れが生じています。さらに、京都市では、「京都市みやこユニバーサルデザイン推進条例」を制定し、「人にやさしいまちづくり」を推進していますが、平成18年12月に、いわゆるバリアフリー新法が施行されたことを踏まえ、公園緑地におきましても、バリアフリー化を推進していきたいと考えております。

ついでには、早急な公園緑地の整備充実を図るため、国庫補助金所要額の確保を要望するとともに、高齢者、身障者等の利便性の向上を図るため、既存公園施設の改修に対する国庫補助金対象枠の拡充を要望します。

また、「第3回世界水フォーラム」の開催地である京都市では、流域全体を見据えた治水対策をはじめとする水に関する基本的方策を示す「京都市水共生プラン」を平成16年3月に策定しました。このプランの基本方針の一つである健全な水循環系の回復のため、「車道における透水性舗装等の活用」による雨水浸透の促進に取り組んでおり、国による補助制度の創設をお願いします。

さらに、京都市ではこれまでの治水及び浸水対策事業としての河川整備に加え、自然環境や景観に配慮した多自然川づくり事業を進めており、これらの取組を推進していくため、国庫補助対象枠の拡充及び補助金所要額の確保をお願いします。

要望事項

- 1 公園緑地整備に対する国庫補助金対象枠の拡充及び補助金所要額の確保
- 2 「京都市水共生プラン」の取組として、車道における透水性舗装等の普及・拡大を図るための国庫補助制度の創設
- 3 多自然川づくり事業に対する国庫補助金対象枠の拡充及び補助金所要額の確保

主な要望先：国土交通省（都市・地域整備局公園緑地課，河川局治水課，道路局国道・防災課，
地方道・環境課）

京都市の担当課：建設局 水と緑環境部 緑政課長 藤井俊志 TEL 075-222-3589

建設局 水と緑環境部 河川整備課長 宮川邦博 TEL 075-222-3591

建設局 道路建設部 道路環境整備課長 岩本葉介 TEL 075-222-3570

<参考>

1 市民1人当たりの公園面積の推移

